

平成23年度上期 電力需給状況

需要の概要

平成23年度上期の販売電力量は、142億1千万kWh時、前年比 96.8%となった。

〔需要の内訳〕

家庭用などの「電灯」は、昨年の猛暑による需要増の反動に加え、東日本大震災以降の全国的な節電意識の高まりなどから、前年比 95.0%となった。

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、「電灯」と同様、気温要因や節電の影響などから、前年比 95.3%となった。

産業用の「大口電力」は、生産活動の持ち直しの動きに一服感がみられることなどから、ほぼ横ばいの前年比 100.7%となった。

需要実績

(百万kWh時、%)

		電力量	前年比
特定規模需要以外の需要	電 灯	4,619	95.0
	電 力	931	93.1
	計	5,550	94.6
特定規模需要(自由化対象)	業務用電力	3,322	95.3
	産業用電力	5,338	100.1
	うち大口電力	(4,166)	(100.7)
計		8,660	98.2
販売電力量 計		14,210	96.8
融 通		3,044	120.3

注：特定規模需要は、特別高圧電力および高圧電力の合計。

大口電力の主な産業別内訳

(百万kWh時、%)

	電力量	前年比		
		23 / 上	22 / 下	22 / 上
織 維	183	93.1	112.6	124.3
紙・パルプ	791	103.5	103.0	104.3
化 学	602	97.1	100.9	110.2
鉄 鋼	440	101.4	108.6	119.9
機 械	957	101.0	111.9	113.6
そ の 他	1,193	101.4	104.9	108.1
合 計	4,166	100.7	106.1	110.7

供給の概要

- 原子力は、伊方3号機の運転再開遅れによる稼働減などにより、前年比 68.2%となった。
- 水力は、前期末から当期末の渇水の影響により、貯水池式水力の発電量が減少したことなどから、前年比 94.5%となった。
- これらの結果、火力は前年比 129.2%となった。

供給実績

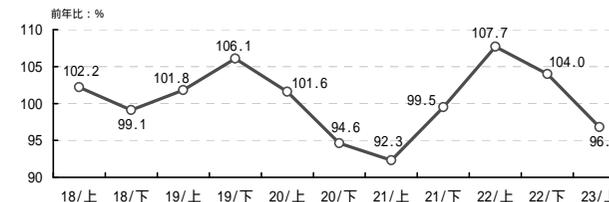
(百万kWh時、%)

		電力量	前年比	備 考
原子力	(28)	5,266	68.2	出水率 108.8% (22年度上期出水率 102.4%)
水 力	(12)	2,257	94.5	
火 力	(59)	11,093	129.2	
新工ネ	(1)	237	114.0	
発受電計	(100)	18,853	99.7	
その他		95		
供 給 計		18,758	100.0	

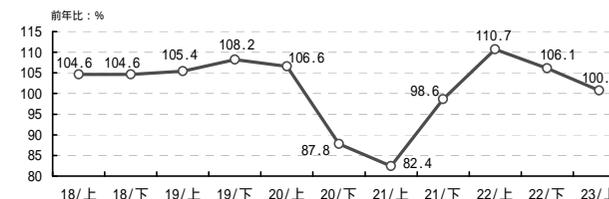
注1. 新工ネにはバイオマス(48百万kWh時)を含む 注2.()内は構成比

注3. 四捨五入の関係で、合計が合わないことがある

(参考1) 販売電力量の前年比の推移



(参考2) 大口電力の前年比の推移



(参考3) 4県都平均気温

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実績	8.4	14.1	19.6	23.7	27.1	28.3	25.0
平年差	0.9	0.8	0.3	0.9	0.3	0.5	0.5
前年差	1.7	0.4	0.7	0.3	0.1	1.4	1.4

(参考4) 各県別の需要状況

(百万kWh時、%)

	徳 島	高 知	愛 媛	香 川
販売電力量計	(97.5)	(95.7)	(96.8)	(96.7)
	3,167	2,321	4,948	3,774

注：()内は前年比